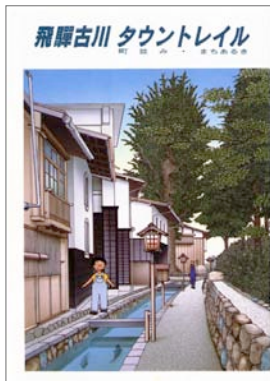


# 「民家フォーラム 2010 in 飛騨市」のご案内

**集合 まつり広場** (飛騨市古川町巻之町 15)

10月16日(土) 12:30 受付開始  
13:30 開会式



**まち歩きには必携!**  
古川のスポットとその歴史や文化がよく分かるガイドブックを受付時にお渡しします。



**お宿** 飛騨市観光サイト[宿]: <http://www.city.hida.gifu.jp/kanko/yado/index.html>

A タイプ [トイレ付き]: 8,400円 (一泊朝食付き)			B タイプ: 6,300円 (一泊朝食付き)		
ホテル季古里	30人	ツイン 15室	たんぼの湯	15人	和室 5室
スペランツァホテル	30人	和室 8室	のとや旅館	15人	和室 5室
飛騨ともえホテル	30人	和室 4、ツイン 4、シングル 7室	大関屋旅館	15人	和室 5室
※JMRA で手配するお宿です。 お支払いは、当日各自でお願いします。			大村屋旅館	15人	和室 5室
			古川ユースホステル	15人	

## 棚田と板倉の里



とあります。  
水口家の先祖にあたる仁蔵が、奥州の棚倉から飛騨のこの地へ移住し、開拓を始め、村の名に出身地の「棚倉」をそのまま使いました。ある年、天災・飢饉に見舞われたとき、この村では奮えていた「種蔵」を近隣の村へ分けてやったところ、これらの村々は「棚倉」を「種蔵」と呼ぶことで感謝の気持ちを表しました。これが「種蔵村」という村名の起源である、とのこと。

■「種蔵」の起源  
種蔵の水口家には、宝暦壬申2年(1752)5月の日付を持つ古文書『華師如来奉持』が伝えられてきました。同古文書には、  
奥州棚倉より三ノ仁蔵源師如来を奉持し、当地に未り村名も棚倉と名付けて開拓せし者と伝ふ。其後歳老いしに飢災打続き、此村より外村へ種物をわけやり、其為に外村の私言に、此棚倉を種蔵と申、其後より種蔵村と称し伝ふ。宝暦壬申二歳五月、喜右衛門、二蔵。

### 宮川町種蔵地区

飛騨古川の北、富山県境に位置する山あいの集落。

最近では滅多に見られなくなった石積みづくりの棚田が約1haにわたり広がり、種籾を保管する種蔵の板倉が懐かしい風景の中に点在している。

平成13年環境省「かおり風景100選」認定地。

## 飛騨市へのアクセス (参考)

### □ 電車

東京 — JR 新幹線 —> 名古屋 — JR 高山線 —> 飛騨古川 (4 時間 30 分)  
 東京 — JR 中央線 —> 松本 — 松本電鉄・バス —> 高山 — JR 高山線 —> 飛騨古川 (5 時間)  
 新大阪 — JR 新幹線 —> 名古屋 — JR 高山線 —> 飛騨古川 (3 時間 50 分)  
 富山 — JR 高山線 —> 飛騨古川 (1 時間 20 分)

### □ 自動車

東京 — 中央・長野道 —> 松本 — R158 安房ト利 —> 平湯 — R158 —> 飛騨市 (5 時間)  
 大阪 — 名神高速 —> 一宮 JCT — 東海北陸道 —> 飛騨清見 — 卯の花街道 —> 飛騨市 (4 時間 30 分)  
 富山 — R 41 —> 飛騨市 (1 時間 30 分)

